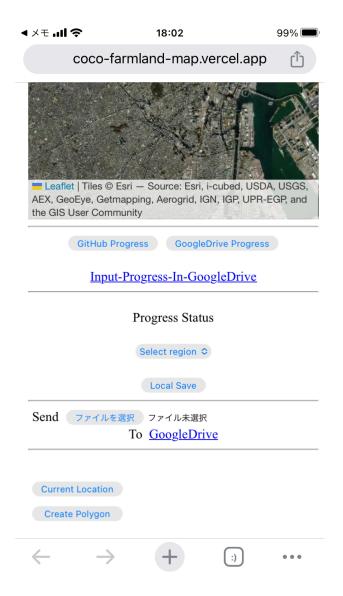
Farmland Map v.2.1

図解資料

スマホからのアプリの見え方を中心に操作法を示します.

地図下側のコンテンツの最初の見え方



GoogleDrive/GitHubいずれの進捗状況を表示したいか選ぶ 選択する前は、全てのregionがprogress3(散布中止)扱い。

選んだ方に<<<<<のマークが表示される

Input Progress in GoogleDriveをクリックすると、Google Drive上のシート(progress_update)が開くので、現場作業は直接これに記入する。

下側のファイル選択は、主に、アプリで作成したポリゴンファイルをGoogleDriveに送付する時に使う。csvファイルを選ぶと自動で所定のGoogleDriveにファイルが送信される。

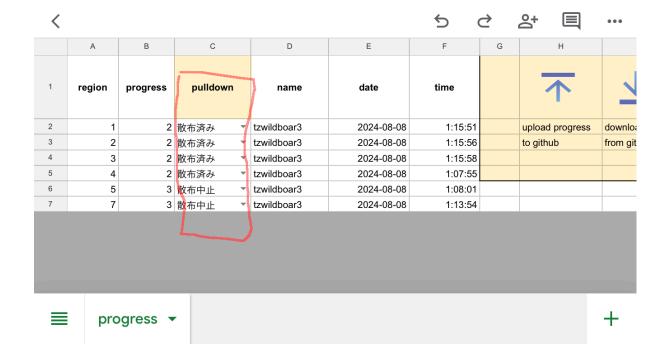


progress_updateが開いた状態

作業は進捗は必ずpulldown列で行う

情報に変化が検知されると、name(使用者のgmailの@より前の部分),date,time,progress列は自動で入力される

共有ファイルなので、複数人が同時編集できる。



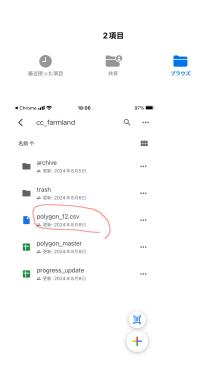
polygon saveを選ぶと、Polygon information入力のpop up画面が開く region番号(数字、必須)、description(文字、任意)を記入して保存ボタンを押すと端末にファイルが保存される。



端末に保存されたcsvファイルを選ぶだけで、自動でGooglrDriveに送信される。

GASを使用しているので、初めての使用時にGoogleの認証がある。





GoogleDriveを起点としたGitHubへのupload/downloadについて pregress_update,polygon_masterには各種GASが組み込まれており、それを使ってupload/downloadができる

使い方のイメージ

pregress_update:

一日の作業終了後に、upload→downloadを一回ずつ行う uploadでGithubに情報を送り、downloadするとGitHubの情報が上書きされるとともに、name列 以降が消去される。(GitHubとの同期完了)

polygon_master:

新たにpolygonを登録する場面で使用する。 downloadでGitHubの登録内容を反映させる。 ホルダ内の新しいpolygon.csvをスプレッドシートとして開く。 コピペしてこれまでのリストに加えてスプレッドシート上で統合し、 GitHubにGASでuploadする。

GitHub	確定情報保存	Goo	gleDrive	現場情報共有	
polygon.csv		\rightarrow	polygon_master(w/GAS)		
progress.csv		_	progress_update(w/GAS)		
			progress_updateに現場作業進捗記入		
			polygon追加修正作業		
		↓↑			
	+	↓ I			
アプリ	J				
地図po	lygon表示				
進捗状	況をpolygon色に反映(G	itHub/Googlel	Drive切替表示)		
Googl	eDrive Ø progress_u	ipdateに現場	作業進捗記入		
新規po	新規polygon作成		作業進捗入力(入力結果は共有されない)		
Local保存		Local	Local保存(入力結果は共有されない)		
Google	Drive転送				